NIE実践報告

1．タイトル：新聞で学ぶ！書く！育つ！

2．学校名

愛知県立岡崎聾学校

3．実践者名（代表者名）

戸谷恵子

4．学年

高等部１年２年３年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

国語総合　現代文　30人

6．単元（本時の学習課題）名

コラム学習

7．目標(狙い)

新聞記事(主に投書欄)を書き写すことで正しい文章表現に触れる機会を増やし、漢字の読み書きの力を高める。記事の内容を理解する活動を通して文章読解力を高める。

8．評価の視点

漢字の読み間違いを減らすことができたか。文章を事実と筆者の考えに正しく分けることができたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

家庭学習として毎日取り組む。

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

4月　①国語の授業でコラム学習の進め方を説明する。
②新聞のどのジャンルの記事を使うか生徒と相談して決める。(主に投書欄を用いる。)
毎日の取組　③新聞記事を切り抜いてノートにはる。
④記事の全文を書き写し、漢字のすべてに振り仮名をつける。
⑤分からない言葉の意味調べをする。
⑥調べた言葉を使って短文を作る。
⑦記事本文を「事実を書いた文」と「考えを書いた文」に分ける。
⑧記事を読んで分かったことを箇条書きにする。
⑨キーワードを使ってマッピングをする。
⑩意見文に対して賛成または反対の意見を書く。
(留意点)　①～④はすべての生徒が取り組む。⑤以降は生徒の習熟度や課題に応じて発展的に取り組む。
毎朝生徒が提出したノートを国語科担当者が中心となって担任や副担任も協力して添削する。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

「漢字の正しい読み方が分かる。」文に書いてある内容が分かるようになってきた。」「今まで知らなかったことを知ることができた」という感想がある。生徒は学習の意義を理解し、意欲的に取り組んでいる。

12．成果と課題

ノートの提出率は80%以上で、家庭で机に向かう習慣が身についてきていると言える。生徒自身が投稿した文が記事に載ることも、学習への意欲を高めている。また、複数の教員で１冊のノートを添削するので、職員室でコラム学習の状況が話題になり、生徒の習熟度を理解しやすい。生徒が課題を克服できるように、他教科からのアプローチを考えるようになってきた。

しかし、生徒は間違いに気付いても漢字の正しい読み方など定着には至らないことも多い。気付きを定着につなげていくことが今後の課題である。